

早稲田大学 国際教養学部 日本史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	なんといっても英文の史料問題が特殊な本学部だが、とりたてて特別な対策を取る必要はない。他の学部同様に普通に史料問題対策をしておこう。後は本学部を受験するほどの英語力があれば対処できる。どうしようもない難問は正解する必要はない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代の史資料	問5・10が難問。問8はやや難しいが、推測で解けた人もい るだろう。こうした問題で正解してしまえるようになるとす ごい。ちなみに問1や問9を間違えた人は、早稲田大学の出 題傾向をもっと精密に知るべき。	やや難
II	中世～近世の蝦夷地	問1・5が難問。ただし、問5は13年前の別学部の問題に類 似するものが出題されていた。北海道史対策は早稲田では必 須。	標準
III	昭和戦前期の政治・外交	各史料にごていねいに年月日がついているため、苦もなく解 ける問題になってしまっている。例年の難しさはここにはな い。	易
IV	戦後の日本経済	本学部では英文史料問題が出るのが常だが、今年は例年とは 若干スタイルが変わって出題された。難問は問3・10。とり わけ問10は、この史料の原典にあたらないと正解するのは難 しい。	標準